

平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成19年10月26日

上場会社名 日本精蠟株式会社 上場取引所 東証2部
 コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 泰邦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井上 寛 TEL (03) 3523-3530

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の業績(平成19年1月1日～平成19年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	30,666	6.1	2,578	34.9	2,385	41.3	1,414	71.9
18年12月期第3四半期	28,903	34.4	1,912	△2.6	1,688	△3.8	822	△52.7
18年12月期	38,282		2,744		2,391		1,223	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	63	16	-	-
18年12月期第3四半期	36	75	-	-
18年12月期	54	66	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19年12月期第3四半期	30,340	9,636	31.8	430	34			
18年12月期第3四半期	30,345	8,066	26.6	360	22			
18年12月期	27,227	8,455	31.1	377	60			

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
19年12月期第3四半期	995	△602	627	2,779				
18年12月期第3四半期	980	△522	1,279	3,546				
18年12月期	1,749	△792	△1,009	1,758				

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
	円	銭
18年12月期第3四半期	—	—
19年12月期第3四半期	—	—

3. 平成19年12月期の業績予想(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

平成19年12月期の通期の業績予想につきましては、現時点では修正を行っておりませんが、現在精査中であり11月末までには公表する予定であります。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年1月～9月)は、米国経済の減速が懸念されたもののアジア向けを中心に輸出は引き続き底堅く推移する中、内需は設備投資を中心に引き続き増勢を保ち、景気は総じて緩やかな拡大基調で推移しました。一方、原油相場は、その指標であるWTI原油価格が年初から上昇に転じ7月以降は一段と騰勢を強め9月には一時過去最高値の84ドル/バレル台を記録し、その後も80ドル/バレルを境に小幅な動きで推移しました。

このような状況の中で、原料油価格高騰に対応するための製品値上げやコスト削減等採算改善の取り組みを強化し本年度業績目標の必達に注力するとともに、新中期経営計画の基本方針に沿って具体的経営課題の取り組みを推進してきました。その結果主製品のワックス販売は前年同期に比較して販売数量では2,222トン増の69,854トン、販売高では951百万円増の11,844百万円の実績となりました。また、重油販売は原油相場高騰の影響等4月以降の需給タイトを背景に、前年同期と比較して販売数量では12,444KL増の360,964KL、販売高では795百万円増の18,772百万円の実績となりました。これにより、当第3四半期の実績は前年同期に比較して売上高では1,762百万円増の30,666百万円、収益面では営業利益で666百万円増の2,578百万円、経常利益で697百万円増の2,385百万円、四半期純利益で591百万円増の1,414百万円と夫々当初予想を上回る実績となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、30,340百万円、負債合計は20,704百万円、純資産は9,636百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比較して1,021百万円増加し、当第3四半期末残高は2,779百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、995百万円となりました。これは主として、税引前第3四半期純利益2,386百万円、減価償却費403百万円、売上債権の増加額1,887百万円、たな卸資産の減少額281百万円、仕入債務の増加額1,311百万円、法人税等の支払1,351百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、602百万円となりました。これは、有形固定資産の取得664百万円、遊休資産の売却額60百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、627百万円となりました。これは主として、短期借入金の純増額2,584百万円、長期借入金等の返済額1,767百万円、配当金の支払188百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原油相場の指標であるWTI原油価格が10月に史上最高値の90ドル/バレル台を記録したのに加え、目下取組み中の製品値上げの浸透状況や原油相場に大きく影響される重油市況の動向等が引続き懸念されます。このような状況の中で、今後の原料油価格の動向等を注視しながら採算販売の徹底と更なるコスト削減に注力するとともに、引き続き新中期経営計画の具体的経営課題の取り組みを推進してゆく所存であります。

通期の業績予想につきましては、前述のとおり直近の急騰する原油相場に伴う原料油価格の先行きに及ぼす影響等が極めて不透明な状況であり、現在精査中であるため11月末までには公表する予定であります。

なお、前回公表(平成19年8月20日)の通期業績予想数値は、売上高は40,400百万円、経常利益2,380百万円、当期純利益1,390百万円であります。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

その他影響額の僅少なものについても一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

平成19年4月1日以降に取得した減価償却資産については、法人税法の改正に基づく定額法及び定率法を採用しております。なお、この改正に伴う損益に与える影響は、軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	3,546	2,779	△ 767	△ 21.6	1,758
2. 受取手形	368	368	0	0.1	394
3. 売掛金	4,926	5,802	875	17.8	3,889
4. たな卸資産	6,402	6,134	△ 267	△ 4.2	6,416
5. その他	678	568	△ 110	△ 16.3	457
6. 貸倒引当金	△ 4	△ 4	0	△ 7.7	△ 4
流動資産合計	15,918	15,649	△ 269	△ 1.7	12,911
II 固定資産					
1. 有形固定資産	13,682	14,031	349	2.6	13,605
2. 無形固定資産	17	13	△ 4	△ 23.8	16
3. 投資その他の資産	726	646	△ 80	△ 11.1	694
固定資産合計	14,426	14,691	264	1.8	14,315
資産合計	30,345	30,340	△ 4	0.0	27,227
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	614	622	7	1.2	320
2. 買掛金	2,066	2,098	32	1.6	1,088
3. 短期借入金	8,353	8,682	328	3.9	6,097
4. 一年内返済長期借入金	2,119	1,767	△ 351	△ 16.6	2,079
5. 一年内償還社債	200	-	△ 200	△ 100.0	200
6. 未払法人税等	571	479	△ 92	△ 16.1	905
7. 賞与引当金	83	110	26	32.2	38
8. 修繕引当金	100	114	14	14.4	175
9. その他	1,032	1,039	6	0.6	751
流動負債合計	15,142	14,914	△ 228	△ 1.5	11,658
II 固定負債					
1. 長期借入金	3,426	2,199	△ 1,227	△ 35.8	3,455
2. 再評価に係る繰延税金負債	3,490	3,490	-	-	3,490
3. 退職給付引当金	171	48	△ 123	△ 71.9	107
4. その他	47	51	4	8.9	61
固定負債合計	7,136	5,789	△ 1,346	△ 18.9	7,114
負債合計	22,279	20,704	△ 1,574	△ 7.1	18,772

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,120	1,120	-	-	1,120
2. 資本剰余金	14	14	-	-	14
3. 利益剰余金	1,711	3,336	1,624	94.9	2,112
4. 自己株式	△ 2	△ 3	△ 0	9.5	△ 2
株主資本合計	2,842	4,467	1,624	57.1	3,243
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	93	38	△ 54	△ 58.6	81
2. 土地再評価差額金	5,130	5,130	-	-	5,130
評価・換算差額等合計	5,223	5,168	△ 54	△ 1.0	5,211
純資産合計	8,066	9,636	1,570	19.5	8,455
負債純資産合計	30,345	30,340	△ 4	△ 0.0	27,227

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成18年12月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	28,903	30,666	1,762	6.1	38,282
II 売上原価	25,089	26,136	1,046	4.2	32,994
売上総利益	3,813	4,529	715	18.8	5,288
III 販売費及び一般管理費	1,901	1,950	48	2.6	2,543
営業利益	1,912	2,578	666	34.9	2,744
IV 営業外収益	71	91	19	27.0	67
V 営業外費用	295	284	△ 11	△ 3.7	420
経常利益	1,688	2,385	697	41.3	2,391
VI 特別利益	-	7	7	-	-
VII 特別損失	294	7	△ 287	△ 97.6	298
税引前四半期(当期) 純利益	1,393	2,386	992	71.3	2,093
税金費用	570	972	401	70.4	869
四半期(当期)純利益	822	1,414	591	71.9	1,223

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年1月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年12月31日残高(百万円)	1,120	14	1,053	△ 2	2,184
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 212		△ 212
役員賞与の支払			△ 15		△ 15
四半期純利益			822		822
自己株式の取得				0	0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額			62		62
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(百万円)			657	0	657
平成18年9月30日残高(百万円)	1,120	14	1,711	△ 2	2,842

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成17年12月31日残高(百万円)	114	5,197	5,311	7,496
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△ 212
役員賞与の支払				△ 15
四半期純利益				822
自己株式の取得				0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額				62
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	△ 20	△ 67	△ 88	△ 88
当四半期中の変動額合計(百万円)	△ 20	△ 67	△ 88	569
平成18年9月30日残高(百万円)	93	5,130	5,223	8,066

当四半期(自 平成19年1月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日残高(百万円)	1,120	14	2,112	△ 2	3,243
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 190		△ 190
四半期純利益			1,414		1,414
自己株式の取得				0	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(百万円)			1,223	0	1,223
平成19年9月30日残高(百万円)	1,120	14	3,336	△ 3	4,467

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成18年12月31日残高(百万円)	81	5,130	5,211	8,455
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△ 190
四半期純利益				1,414
自己株式の取得				0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△ 42		△ 42	△ 42
当四半期中の変動額合計(百万円)	△ 42		△ 42	1,180
平成19年9月30日残高(百万円)	38	5,130	5,168	9,636

前期(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年12月31日残高(百万円)	1,120	14	1,053	△ 2	2,184
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 212		△ 212
役員賞与の支払			△ 15		△ 15
当期純利益			1,223		1,223
自己株式の取得				0	0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額			62		62
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計(百万円)			1,058	0	1,058
平成18年12月31日残高(百万円)	1,120	14	2,122	△ 2	3,243

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算差額等 合計	
平成17年12月31日残高(百万円)	114	5,197	5,311	7,496
当事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 212
役員賞与の支払				△ 15
当期純利益				1,223
自己株式の取得				0
土地再評価差額金取崩に伴う振替額				62
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△ 32	△ 67	△ 99	△ 99
事業年度中の変動額合計(百万円)	△ 32	△ 67	△ 99	959
平成18年12月31日残高(百万円)	81	5,130	5,211	8,455

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 (平成18年12月期第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	1,393	2,386	2,093
減価償却費	396	403	543
修繕引当金の増減額	100	△ 60	175
売上債権の増減額	△ 904	△ 1,887	106
たな卸資産の減少額	362	281	348
仕入債務の増減額	△ 254	1,311	△ 1,525
利息の支払額	△ 258	△ 224	△ 362
法人税等の支払	△ 7	△ 1,351	△ 7
その他	151	137	378
営業活動によるキャッシュ・フロー	980	995	1,749
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の 取得による支出	△ 522	△ 664	△ 793
その他	0	62	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 522	△ 602	△ 792
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	2,343	2,584	87
長期借入金等の純増減額	△ 876	△ 1,767	△ 887
その他	△ 187	△ 188	△ 209
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,279	627	△ 1,009
IV 現金及び現金同等物の増加額	1,736	1,021	△ 51
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,809	1,758	1,809
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	3,546	2,779	1,758